

四万十町 議会だより

NO.71

2024年5月10日発行
高知県四万十町議会



(紹介記事は P.24)

3月定例会(会期3月6日～3月15日《10日間》)

P.2～P.3

補正予算質疑

P.4～P.6

当初予算質疑

「議員定数に関する調査」へのご協力をお願い

P.7

議案審議

P.8～P.20

一般質問 災害関連質疑など…12人が質す

P.24

ありやどうなっちゅうぜよ (三島キャンプ場リニューアルオープン)



補正予算質疑

令和5年度四十町一般会計補正予算(第7号)が上程された。主な内容は、ふるさと支援寄付金の減収見込みとして関連事業費2億4217万円を減額。また、文化的施設整備事業費の事業中止に伴う施設本体整備費用20億8467万円、小学校管理費精算によりトイレ改修工事費2796万円をそれぞれ減額する他、国土調査事業費で窪川中津川地区、日野地区の調査事業費4118万円を追加計上し、歳入歳出それぞれ35億700万円の減額補正となり、累計予算総額は歳入歳出それぞれ178億7000万円となった。

路線バス運行事業補助金1860万円の減額

Q 大きな減額だが理由を示せ。

A 補助対象事業者(四十交通)での人件費の抑制努力がされたことと、当初予算時に国・県からの補助が該当しない場合の補填額を見込んでいたが、一定額の補助金交付があったため減額。

課税分であり、給付対象世帯は7万円の給付を行っている世帯を対象としており、令和6年3月8日に約98%の振り込みが完了する予定になっている。

ふるさと支援寄付金4億7150万円の減額

Q 減額となった主な要因は何か。

A 本年度納税後に確定申告が免除される(ワンストップ特例)制度改正があり、施行後の10月には納税が前年度の3倍に集中し、従来集中する11月・12月にそれぞれ51%・60%に大きく落ち込んだこと。また、年明け以降は能登半島地震により被災地への寄附が集中していると見られ大幅な減額となった。

低所得世帯生活支援事業(子ども加算)に1866万円

Q 加算基準日が12月1日となっているが、確定申告の終了を待つとなると、支給日はいつ頃になるか。

A 現在行っている税申告は令和6年度

現在行っている税申告は令和6年度

第16回四万十川桜マラソン



中間管理住宅家賃収入177万円の減額

Q 入居者がいない為の減額なのか。

A 中間管理住宅への改装未完成や設計変更などに起因して6件が繰り越しになったことによるもの。

家地川地域活性化拠点施設用地購入費133万円の減額

Q 減額の要因は何か。

A 施設体育館の部分に土砂災害の特別警戒区域に一部指定されており、体育館前の山側傾斜地の擁壁工事をするにあたり、一部含まれる民有地の購入費用を計上していたが、持主の意向

で購入できなくなったため。

地元高校入学祝金180万円減額

Q 減額要因は入学者の減数と思われるが実数を示せ。

A 当初、令和4年度の入学者を参考に窪川・四万十両校で65人を見込んでいたが、結果は窪川高校22人、四万十高校25人の計47人となり減額したものの。

浄化槽設置整備事業補助金937万円の減額

Q 減額理由を示せ。

A 当初65件を予定していたが、令和5年度は5人槽40個、7人槽4個の計44件の事業と

なり、その差額について減額。

古城体育館一部解体等工事費351万円減額

Q 一部解体工事費の減額だが、内容を示せ。

A 体育館に隣接する小学校部分の給湯室が土砂災害特別警戒区域に属することから、移転作業を行っているが、関連の工事が年度内に完了しないため減額とするものの。

当初予算質疑

令和6年度一般会計当初予算は、移住・定住促進施策や子育て支援施策、「四万十町デジタル田園都市構想総合戦略」などを中心として編成され、予算総額195億4900万円（うち、ふるさと納税関連予算計18億6100万円を含む）が上程審議された。

町産材普及促進事業に500万円

Q 町産材を利用して、木製のベンチ3台を関西万博会場や協定企業コクヨの本社に配置してPRを図るとあるが、ベンチの配置、規模を聞く。

A ベンチは幅1.8m、奥行1m、高さ1mで3人掛け仕様の2個をコクヨ本社に。令和7年に開催される万博会場には、中央にツリー状のデザインを模した直径1.4mの円形ベンチを配置してPRを図る。

四万十の木ふれあい木育推進事業委託料に210万円

Q 令和5年度から始めた新生児への木製玩具交付事業だが、実績と次年度の取り組み内容聞く。

A 令和5年度は26人から申請があり年度内に贈呈の予定。令和6年度は新生児60人と勘案して平均3万円前後の玩具を予定している。



四万十の木ふれあい木育推進事業で贈呈される木製ブランコ

特殊建築物定期報告委託料に170万円

Q 「特殊建築物」の定期報告内容を聞く。

A 「特殊建築物」とは農村環境改善センターや四万十会館、ふるさと未来館といった建築物を指し、建物の定期検査、防火設備の定期検査を行っている。

出産・子育て応援交付金事業に1200万円

SNSを利用し産婦人科医、小児科医、助産師に無料で直接オンライン相談ができる「産婦人科・小児科オンライン」を導入するもの。

Q サービスの開始にあたって周知方法



定住住宅米奥団地の建設予定地



はどのように考えているか。

A 母子手帳交付時や新生児訪問や健康相談の際に、健康福祉課や町民生活課で説明周知を行う。

電源立地地域対策交付金 660万円

Q 今期の充当先はどこか。

A 「認定こども園たのの」の保育士人件費に充当する。

Q 充当先は限定されているのか。できれば四十川保全や景観保持のために使途を考慮できないか。

A 使途については自由度が高いので次

年度以降は四十川関連について検討していく。

定住住宅建設事業に1億2930万円

松葉川地区に「定住住宅米奥団地」として令和6年度に木造平屋建て3棟3戸を建設し、令和7年度に子育て支援住宅として3戸を建設する実施設計を行うもの。

Q 住宅の完成予定はいつ頃になるか。

A 定住住宅3戸は令和7年3月31日までに完成予定。

学校図書購入費に
小学校215万円
中学校88万円
町立図書館700万円

Q 購入に際して算定基礎はどうしているか。

A 小中学校に関しては、国からの図書購入費に充てる交付税措置があり、学級数・児童生徒数で按分して各校に配分している。図書購入に際しては、各学校の裁量に任せている。

町立図書館の購入費は従来400万円の予算を組んでいたが、令和5年度から移動図書館に100万円と、寄附金2000万円を充て700万円となった。

老朽住宅除去事業補助金に3300万円

Q 5年度の除去件数と6年度の事業件数を示せ。

A 5年度の実績は21戸で6年度は20戸の事業数を見込んでいる。

英語4技能検定受験委託料 小学校42万円、中学校59万円

Q 検定の目的と対象学年、受験者数の予定を示せ。

A 「聞く、読む、話す、書く」の4技能を測るテストで、小学校は6年生120人、中学校は2年生110人の予算を組んでいる。

「道の駅四十川大正あいの里」改修事業に230万円

竣工から25年が経過し、施設の老朽化や食堂、売場、加工環境に対して利用客・管理者双方に不便



道の駅四十川大正

な状況が続いているため、大規模改修をするもの。

Q 7年度に向けて改修を行う事業だが具体的な工事内容を示せ。

A 既存の施設は、新たに設けられた衛生基準をクリアできなくなる状況にあり、厨房部分、食堂、物産スペースが主な改修場所となる。

その他、空調機器や調理設備についても更新していく。

「ウエル花夢」施設整備事業に1680万円

Q 施設の太陽光発電設備改修工事を行う事業だが、どれだけの発電能力か。また、蓄電池等の整備について聞く。

A 施設の太陽光発電は平成12年に設置され、老朽化が進んでおり、今回は1日当たり8.6kwの発電量を予定している。

蓄電池は管理棟に太陽光発電設備と共に整備し、停電時や災害時の2次避難場所としても活用していく。

「議員定数等に関する調査」への協力をお願い

現在、全国の地方議会において、地方議員や女性議員のなり手不足などが課題となっており、四万十町議会においても例外ではありません。

そこで、四万十町議会では、なり手不足の解消、時代に合わせた議会運営の在り方等の課題解決に

向けて取り組むために、「議会改革調査特別委員会」を設置し、調査・審査を進めているところだ。

先般、区長の皆様には議会定数等に関するアンケートにご協力いただき、一定ご回答をいただいたところですが、町民の皆様からも幅広くご意見をいただきました。アンケートを次に記載の窓口に設置し、議会ホームページにもQRコードを掲載しておりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

●アンケート用紙設置場所

- ・本庁西庁舎一階ふれあいホール
- ・各地域振興局窓口
- ・興津出張所窓口

●QRコード掲載場所

・議会ホームページ
回答用QRコード



皆様からいただいたご意見は匿名で集計し、統計的に分析する予定で、調査目的以外には使用いたしません。（ご記入またはご入力されたご意見は公表しないこととしていますが、集計結果は公表する場合があります）また、個別の回答に対するフィードバックは提供しておりませんが、いただいたご意見は今後の議会運営の参考とさせていただきます。

趣旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします。



大正地域にあるオートキャンプ場ウエル花夢

議案審議

小学校教師用指導書の売買契約の締結について

令和5年度の教科書用図書の採択結果を受けて、令和6年度から窪川・大正地域の小学校で使用する教師用指導書の購入を行うもの。

Q 売買地域に十和地域の学校が対象となっていないのは何故か。

A 従来、十和地域については、四万十市西土佐の業者から購入しているため、本議案の対象地域になっていない。

四万十町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定め

る条例の一部を改正する条例について

Q 見直し内容に「公正中立性の確保のため」とあるが主な改正は何か。

A 公正中立性の確保の見直しについては、前6カ月間に作成したサービスマーケティングの各サービスマーケティングが特定事業者に偏っていないか。満遍なく必要なサービスマーケティングが作成され、数値化して、利用者側に理解してもらうことを努力義務とすることに改正された。

四万十町昭和ふるさと交流センター等条例の一部を改正する条例について

ズイン四万十」の3施設の管理について定めるもので、今春リニューアルオープン予定の三島キャンプ場に合せて各施設の利用料金を変更するもの。

Q ふるさと交流センターのボート利用金額が改定前4人乗りで4000円、改定後は1人6000円となっているが、これまでに破格の金額だったのか。

A これまでガイド付きのラフティング事業として1艇4000円としてガイド料込みで約1万7000円で展開していたが、今回、ガイド料も含めた利用料とし、1人に付き6000円とすることで、一般的な基準額に見直した。

四万十町家地川地域活性化拠点施設条例の一部を改正する条例について

令和3年7月に開所した集落活動センターに併設した簡易宿泊施設の使用料金の一部を変更するもの。

Q 短期滞在者の利用料金が1室3200円から3700円、長期滞在者が1室1万8200円から3万6400円にすることで運営の安定化を図るとしているが、試算根拠を示せ。

A 主に光熱水費の対応となるが、宿泊利用動向を見ると、1部屋3名から4名で利用見込みとしていたが、状態として1人1部屋での利用が主流で、その結果、光熱費の増加が赤字の原因となっている。

因となっている。宿泊人数の推移は、令和3年度166人、4年度423人、5年度の現時点687人で、宿泊料の収入見込みは230万円と右肩上がりにあり、6年度に700人を見込んでおり黒字に転じる予定だ。



旧家地川小学校を活用した集落活動センターけやき

一般質問

執行部を質す



中屋 康 議員……………P.9

- 小規模漬物・水産製品生産者の救済を
- 郵便局をスマホサポーターに



武田 秀義 議員……………P.10

- 生活用水確保のため井戸の登録・設置を（災害対策）
- 東又地区の放課後子ども教室の移設を



緒方 正綱 議員……………P.11

- 災害に対する総合的な所見を問う
- 手話言語条例の制定について



古谷 幹夫 議員……………P.12

- 子育て世代に軸足を置いた一層の拡充が重要では
- 今後の可能性は（しまんとJOIN）



佐竹 将典 議員……………P.13

- 子育て支援について問う
- 今後も継続していくのか（婚活事業）



田邊 哲夫 議員……………P.14

- 任期中の文化的施設整備は
- 定住のために持ち家政策の推進を



橋本 章央 議員……………P.15

- 川が見えづらいが対策は（四万十川保全）
- 三島キャンプ場周辺整備について問う



下元 真之 議員……………P.16

- ライフサイクルコストの考え方は（公共施設）
- 行政事業の撤退要件が必要では



伴ノ内 珠喜 議員……………P.17

- 南海トラフ地震に備えた防災対策は
- 町内避難所の整備状況は



水間 淳一 議員……………P.18

- 人口減少どう対応する
- 根本的な四万十川の再生は



中野 正延 議員……………P.19

- 災害後の復旧・復興対策は
- 飼料米・WC Sでの耕作放棄地対策を



堀本 伸一 議員……………P.20

- 提案者の将来構想を示せ（人権条例）
- 地域性を活かし粛々と進めるべき（図書館整備）

一般質問は議員自身の考え方をもとに、持ち時間1人60分の制限時間の中で、町長や教育長の方針・考え方を問うもの。3月議会では12人の議員が質問。議会だよりでは質問と答弁を要約し掲載する。



中屋 康 議員

小規模漬物・水産製品生産者の救済を

施設改修補助を行う／にぎわい創出課長

中屋 令和6年6月から食品衛生法が改正され施行されると、これまで対象とされない小規模生産者にも営業許可が必要となるが、本町の現況を聞く。

小笹にぎわい創出

課長 今回の法改正は、国際基準を取り入れた改正が行われ、新たに営業許可を必要とする6業種があり、そのうち本町では漬物・水産製品の製造業と食品小分け業（約20業者）が関連すると思われる。

中屋 漬物生産者などの小規模生産者が保健所から許可を得るにあたり、現状の衛生管理環境を整えるためには多額の改修費用が生じると不安を訴



みどり市の加工品コーナー

えている。これらの改修に対する支援策の考えはないか。

小笹にぎわい創出課長

県では本年1月に「食品加工継続支援事業」として整備費用を補助する制度を創設しており、本町でも個人施設で費用2分の1を範囲として最高100万円、共同施設で最高200万円を補助することになっている。

地域包括連携協定

郵便局をスマホサポーターに 可能な範囲で進めたい／企画課長

中屋 安全・安心のまちづくりを目指して郵便局との地域包括協定が結ばれているが、どのような内容で運用しているか。

川上企画課長

日本郵便と地方公共団体が一体となつて、地域の発展・活性化に貢献することを目的に、令和4年に①SDGsの推進②安心・安全な暮らしの実現③地域の経済活性化④未来を担う子どもの育成⑤地域創生に関することの5項目について結んでおり、年1回連絡を取り合っている。

川上企画課長

高齢者の情報格差の是正対策は、スマホサポーターとして高校生も含め20数名を任命

において、デジタルを利用したシステムづくりが急務だが、高齢者のスマホ利用の促進を図るため、身近に利用している郵便局に「スマホ講習」を委託してはどうか。

中屋

高齢者の見守りに



窪川郵便局

災害対策

生活用水確保のため井戸の登録・設置を進めるべきではないか
深掘りし検討していきたい

／町長



武田 秀義 議員

武田 今回の能登半島地震を受けて改めて災害対策、特に生活用水の重要性を強く感じた。井戸の活用、必要性をどう捉えているか。

西岡危機管理課長 今回の地震のように長期に断水した場合、井戸水の活用は有用と考える。

武田 熊本市など、防災

用井戸の登録制度を取り入れ実施している自治体もある。本町でも取り入れるべきと考えるが。

所・集会所・公園など、町の至る所に設置することで様々に活用できる。ぜひ進めていただきたい。

西岡危機管理課長 登録制度は整備していないが、井戸の数の調査は必要と考える。実際に飲用

町長 井戸の必要性は認識している。なお深掘りし検討していきたい。

として活用できるか水質検査も必要で、今後検討していきたい。

武田 井戸の復旧に

も費用がある。手押しポンプなど修理や整備の助成制度も必要と考える。また、避難所や一時避難



災害時の活用が期待される井戸

学校教育

東又地区の放課後子ども教室の移設を今後検討し協議していく／教育長

武田 東又基幹集落センターにある放課後子ども教室は、東又小学校から1キロ以上離れており、学校から施設に移動する子ども、特に低学年にとっては様々な負担と危険が伴う。地元から要望も出ていますと聞く。早期の移設が必要だというのが検討しているか。



東又基幹集落センター

味元生涯学習課長 学校

の保護者や子ども教室の話しは伺っている。来年度、統合による利用者が決まった中で、改めて協議を

お願いしている。

山脇教育長

どのような居場所づくりがいか検討もしてきた。現学校施設の活用、安全なバス等の送迎、公民館の使用、そして増築が可能かなどを含め今後検討し協議していきたい。



緒方 正綱 議員

災害に対する総合的な所見を問う 防災対策体制の充実に努める

／町長

緒方 本町の「事前復興まちづくり計画」の策定状況を問う。

西岡危機管理課長 まだこれから着手するという状態だ。復興体制の方向案の作成に取り組むよう協議を進めている。計画を進めるにあたり、事前に地域の情報収集や分析を行い、下準備を進めていく。

緒方 令和6年度の取り組みと方向性を問う。

西岡危機管理課長 沿岸部19市町村に対して県より、令和6年度までに行政内部での復興体制と方針案の作成を求められている。その際に沿岸部地域の「事前復興まちづく

り計画」の素案作成、令和9年度までとはいかないが、合意形成が取れるよう地域と一緒につづいていきたい。



興津地区の高台に整備された広場

緒方 防災対策、災害対策に対する総合的な所見を問う。

中尾町長 事前復興計画も含め、もう少しスピードアップをしなければと考える。万全の防災対策体制の充実に努めたい。

国澤健康福祉課長 県は、まだ未制定だが、策定に向けて検討委員会を立ち上げると聞いている。県内では10市町村、全国では514カ所の自治体が制定している。

緒方 手話言語条例の県下の制定状況を問う。

国澤健康福祉課長 県は、まだ未制定だが、策定に向けて検討委員会を立ち上げると聞いている。県内では10市町村、全国では514カ所の自治体が制定している。

緒方 県下の市町村では温度差があるが、ネックとなるものがあるか。条例制定によって住民が縛られることはあるか。

緒方 条例の制定について町の方角性、考え方を問う。

中尾町長 必要性は充分感じている。県下の状況も含め

使用するしやすい環境づくりを推進することでお互いを尊重し合い、共生する地域社会の実現を目的としている。認識の部分だとは思いますが、福祉に関する障害者基本法の中で

社会福祉

手話言語条例の制定について

必要性を見ながら制定に向け

た協議を／町長

て啓発、そして本来の言語として、広く町民に周知できるような教室などの取り組みを進め、必要性も見ながら制定に向けた協議を進めたい。

町と住民が縛られることはない。

多少温度差があるかもしれない。また、条例によって

は充分感じている。

県下の状況も含め



手話サークルの様子

中間管理住宅

子育て世代に軸足を置いた二層の拡充が重要では さらに研究・協議をしていく／町長



古谷 幹夫 議員

古谷 設置の目的・概要について問う。

小笹にぎわい創出課長

平成26年度より取り組んでおり、移住・定住の促進が主たる目的である。

古谷 直近の申請数、利用者の評価の声はどうか。

小笹にぎわい創出課長

今年度は7件の相談があり、そのうち5件を採用

している。

空き家の提供者、入居者、受け入れの地元、地区の方でも大変喜ばれている。

古谷 選定する上での要件は。

小笹にぎわい創出課長

相談のあった物件については担当者が現地に出向いて確認。概算費用は通常タイプで1300万円。子育て世帯用は1800万円までに改修費用が収まるものを候補物件としている。



大正地域にある中間管理住宅

古谷 若い子育て世代に軸足を置いた一層の拡充が重要ではないか。

中尾町長 若い方が住んでもらうことが喫緊の課題。さらに研究、協議をしていく。

しまんとJOIN

今後の可能性は 双方にメリットのある取り組みとしたい

／企画課長

古谷 「しまんとJOIN」導入の背景・概要、運用開始後の利用状況を聞く。

川上企画課長 本町の主要産業である農業分野において、スマート農業の推進等による効率的な農業経営体制の確立と、就業環境の整備を図る必要があることから取り組みだ背景がある。

人手不足の解消と新規就農を含めた移住・定住促進を目的に、マッチングサイトとして開設。当初は9事業者であったが、現在は13事業者が登録している。

古谷 今後の可能性についてどう考えているか。

川上企画課長 現在は思ったほどの成果が上がっていないが、取り組み自

体は可能性を秘めている。現在、町のホームページのリニューアル作業を進めており、4月1日よりリニューアル公開を予定している。そのトップページに「しまんとJOIN」も特設バナーを貼ると同時に、町の公式YouTubeの方にもアップする予定。事業者、利用者双方にメリットがある取り組みとしていきたい。



しまんと JOIN のホームページ



佐竹 将典 議員

子育て支援について問う

総合的に判断していきたい

／町長

佐竹 ウク
ライナ戦争を起因としてどんどん物価が上がってきた。赤ちゃん用品も例外ではない。某大手企業は2023年6月1日よりジュースなどの飲料、育児用品、育児ミルクなど、46品目を希望小売価格の5.8%から20%値上げするとの記事もあった。中土佐町では3歳誕生日の前日まで、赤ちゃん用オムツやおしり拭きが購入できる上限10万円のクーポン券が配布されている。四十十町もこの物価高に鑑みて独自の政策をつくり子育て世帯に対し

て支援するべきではないか。



四十十町こども家庭センター「楓」

中尾町長 子育て支援については順次対応してきたつもりだ。令和5年からは副教材の支援、学校給食の無償化など進めてきた。今後も総合的に見て判断したい。

婚活事業

今後も継続していくのか
効果が上がらなければ
次のやり方も検討する／企画課長

佐竹 これまで行った婚活イベントの成果を問う。

川上企画課長 婚活連絡協議会が助成を行った過去4件のイベントについて

では、カップル数を確認できる資料が残っていない。理由は主催が連絡協議会ではなく民間の事業者だったので後追いができていない。過去において後追いまでの意識はなかったが、令和5年度からは民間事業者にも委託をし後追いできる体制づくりとなっている。

佐竹 マッチングの定義を問う。

川上企画課長 お互いが気になるという気持ち

がマッチをし、まずは連絡先を交換する段階がマッチングだというふうに考

えている。

佐竹 この事業を今後何年

継続し、毎年どれぐらいの予算を使うのか問う。

川上企画課長 事業規模としては1000万円弱を予想している。国の補助金を

県補助金を



四十十町出会い応援センター「てとてと」のチラシ

文化的施設

任期中の文化的施設整備は 議論はするが任期中は整備できない

／町長



田邊 哲夫 議員

田邊 今定例会の行政報告において、本施設の建設についての住民投票を実施すべきでないとの判断であるが、その判断に至った理由を問う。

中尾町長 教育施設であり、議会としての合意を得て進めることが良いとの考えと、住民投票の実施により、町民間の対立を招くべきではないと考

えた。

田邊 合併特例債を財源とした、現計画の文化的施設建設を中止するとの報告であったが、現施設が抱える課題に

対して、規模縮小をするなり、再度検討して整備すべきではないか。

中尾町長 6年間議論してきた現計画が否定された以上、新たな計

画となればそれなりの期間を要する。議論はすべきであるが、残り2年の任期中の整備は考えていない。



四万十町立図書館

移住・定住

定住のために持ち家政策の推進を

意見も踏まえ検討したい／町長

田邊 中間管理住宅の戸数は。また入居されている戸数は。

小笹にぎわい創出課長 中間管理住宅については平成26年度より整備を開始しているが、窪川地域で27戸、

大正地域で8戸、十和地域で8戸である。入居されている戸数は予定も含め42戸で、空きが1戸となっている。

田邊 この事業の目的として最終的には定住を目指すことであると思うが、自分で家を持つってもらうための支援策も大事ではないか。

中尾町長 経済的な事情もあると思うが、意見も踏まえ検討したい。



十和地域にある中間管理住宅

田邊 現在改修中の中間管理住宅について、1件地元ではない業者に畳などについて発注している。改修工事は地域密着型で行うべきではないか。

中尾町長 今後の移住・定住の展開も含めて、一部、包括連携協定を結んでいる会社が発注した部分はありますが、全体的には地域密着型で進めていきたい。



橋本 章央 議員

川が見えづらいが対策は 現地確認をして対応する

／建設課長

橋本 国道、県道等から樹木や竹の繁茂により、川が見えづらい状態になっているが対策はとれないか。

下元建設課長

四万十川沿いの国道・県道・町道からの眺望の良い場所において、草木・竹などが景観面に影響している箇所があれば、町にて現地確認を行い各関係機関で対応していく。

現在、区長会に報告し必要箇所の取りまとめをしている。

橋本 水際まで樹木・竹・草類が繁茂することで、キシツツジやトサシモツ



国道 381 号から見える四万十川

ケなどの希少植物に影響があると考えているが対策について問う。

川上企画課長 専門家の意見を聞きながら対応していく。

流域全体で取り組む事柄であり、保全機構、県とも調整しながら進める。

観光整備

三島キャンプ場周辺整備について 問う

地域と知恵を出し合いながら取り組む

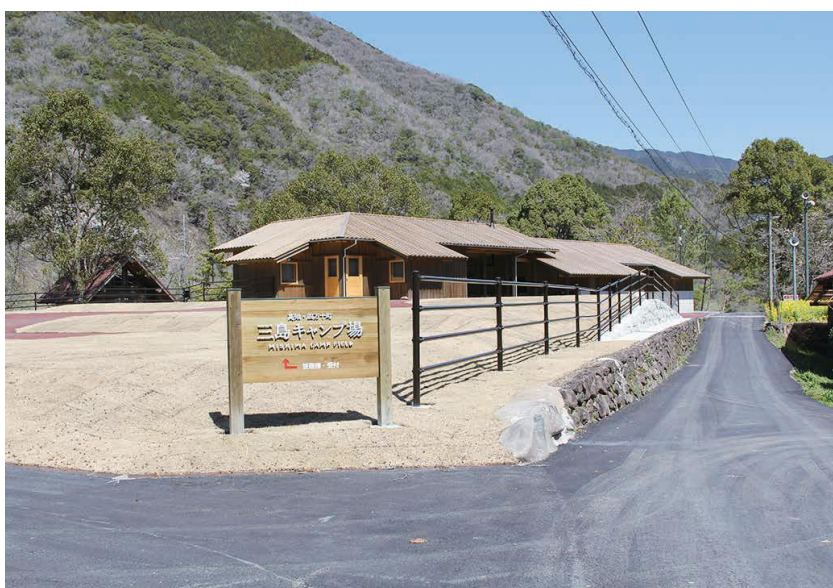
／十和振興局長

橋本 三島キャンプ場がリニューアルされたことで周辺の荒地が気になるが、今後の整備の進め方について問う。

富田十和振興局長 用地内に古い建物が残っており、その撤去処分が課題となっている。第三者の建物で民有地のため課題はあるが、地域のリノベーションエリアのような位置づけとしたい。

指定管理者が主体となって創意工夫し、地域おこし協力隊や施設利用者も一緒に知恵を出し合い、汗をかくこのエリアをつくる。そのよ

うな活力ある取り組みに、ために必要に応じて町のつなげていきたい。その予算支援も検討する。



リニューアルオープンした三島キャンプ場

公共施設管理計画

ライフサイクルコストの考え方は
全体を見る意味で非常に重要

総務課長



下元 真之 議員

下元 ライフサイクルコストの考え方を問う。

池上総務課長 建物を建てる前の設計から整備工事、ランニングコストを経て修繕しながら、役目を終えて解体するまでの全体費用ととらえている。

建物は現存する限り費用もかかるため、整備後にどれくらいの費用がかかるか全体を見る意味で非常に重要との認識だ。

下元 職員の間でも考え方を共有して進めているか。

池上総務課長 マネジメント委員会のトップは副町長で、それぞれの公共施設を所有する課の管理職が構成員であり、内容については重要度も含めて共有できている認識だ。

下元 今後の施設整備を進める中でも、ライフサイクルコストの考え方を踏まえて取り組む考えか。



平成7年にオープンした窪川四万十会館

中尾町長 確かにそういった観点からの精査が必要だと思っている。ただ、教育施設においては一定の規模が必要であり、全体像を見極めながら資金調査、経費調査と共に取り組んでいく。

撤退戦略

行政事業の撤退要件が必要ではないか
見極めが大事と改めて認識／町長

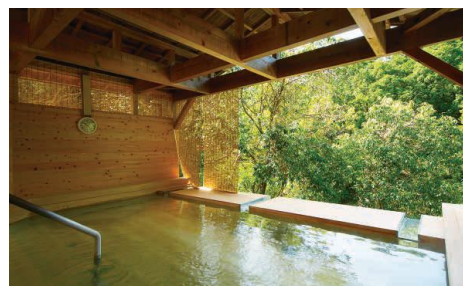
下元 公共事業の撤退を考える要件について、現状と考え方を問う。

川上企画課長 現在、町では300余りの事務事業を実施しており、施策目標単位で60事業程度を選定し条例に基づく行政評価をしている。

事業撤退を判断する要件は、この結果が大きい。最終の判断は導入の経緯や実績、今後のニーズや目的の達成見通しなどを総合的に勘案しての判断となる。

下元 各事業において条件や目標値を定め、「満たさなければ中止にする、撤退する」との要件が必要ではないか。

川上企画課長 評価時の達成度を数値化し、ランクづけして判断する設定



や仕組みはできている。ただ、実際にその数値が事業の継続に直結するかは様々な判断材料があり、総合的に勘案しながら最終判断となる。

中尾町長 状況の見極めが大事だと改めて認識した。

本来あるべき姿の活用ができない状況になれば見直しも含めて考えなくてはならない。

今後、もっと整理ができるよう検討する。



伴ノ内 珠喜 議員

南海トラフ地震に備えた防災対策は 課題解決に向けて取り組んでいく

／町長

下元建設課長 町営住宅502戸のうち、昭和56年以前の建設で、耐震性のない住宅が170戸、そのうち耐震改修工事をした住宅が4万1000戸、住宅等長寿命化計画によ

伴ノ内 町営住宅や一般住宅の耐震化の進捗状況は。



興津地域にある町営住宅

中尾町長 耐震化については今一度精査し、周知に努め、今後の課題解決に向けて取り組んでいく。

り、令和10年までには17戸を計画。

また、一般住宅では1万3000戸のうち、耐震改修工事を500戸実施。

災害対策

町内避難所の整備状況は

二次避難所として35カ所、

広域避難所として12カ所設定

／危機管理課長

伴ノ内 町内避難所の整備や飲料水・非常食の整備状況を問う。

西岡危機管理課長 町内

では二次避難所として35

カ所、県指定の広域避難所として12カ所設定。二

次避難所の備蓄について、

飲用水は台地部では防災

2日目から給水が始まる

ため約1万5900人分の

1日分を備蓄。海岸部

では興津地区で7日間、

志和地区で8日間の備蓄。

非常食については、台地

部で（防災後4日目には

救援物資の發送見込み）

35日分、興津地区で7日

分、志和地区で8日分を

備蓄している。

伴ノ内 土砂崩れや河川

の氾濫など、災害への防

災対策について問う。

西岡危機管理課長 令和

4年度に四万

十町防災マッ

プを更新し町

内全戸配布。

最新のハザー

ド情報が反映

されている。

また、今後の

対策として、

高齢者等避難

指示や避難所

の開設など情

報発信も含め、

早期対応を実施していく。

町長 自らが地域の危険

箇所を事前に察知し、避

難活動などに役立てて欲

しい。



四万十町防災マップ

人口対策

人口減少どう対応する

正面から取り組む／町長



水間 淳一 議員

非常に危機的な状況と実感している。人口減少対策に正面から取り組んでいく。

組むことになっている。県と足並みを揃え少子化対策、若者定着など持続可能な地域社会の形成に取り組んでいく。

水間 若者の定着、少子化対策は優先順位を定めた地道な取り組みが重要と思うが。

水間 人口動態統計によると、国内の2023年の出生数は7万8631人で2022年から5%余り減ったとのことだ。

少子化が進めば地域社会へのマイナスの影響は必然だが、町長の思いを聞く。

中尾町長 本町の令和4年度の出生数は62人であり、さらに減少が見込ま

川上企画課長

高知県は中山間地域再興ビジョンを策定しており、人口減少や高齢化が進んでいる中山間地域対策など、多岐にわたって取り

組むことになっている。県と足並みを揃え少子化対策、若者定着など持続可能な地域社会の形成に取り組んでいく。



地域資源

根本的な四万十川の再生は
どのような対策がとれるか検討したい

／企画課長

水間 最

後の清流と呼ばれて久しくなるが、現在の四

万十川は清流と呼ば

ぶにはほ

ど遠くな

っている。

この川を

元の清流

に戻すこ

とは非常

に難しい。

県の力を

借りながら再生しなければならぬと思うがどうか。

川上企画課長 最近特に川底が浅くなり水質の悪化にも影響を与えているといわれている。重機で河川敷を掘削し砂利のふり分けと埋め戻しを行

う実験をされており、一定効果が認められていると聞いている。関係者等の意見を聞きながら、どのような対策が有効か検討したい。

その他の質問

●公共交通について



再生に向けた検討に取り組んでいる四万十川



中野 正延 議員

災害後の復旧・復興対策は 道路改良と事前復興計画を速やかに

／町長

中野 孤立した地域の復旧作業に建設業者の機材は使用できるか。

西岡危機管理課長 建設業協会と災害協定を締結しており、使われていない重機があれば自助も大切で、住民によって道路が通行できる状態となり、孤立が解消された事例もある。

中野 断水後の水の補給場所の設置は。

小嶋環境水道課長 地域の中心となる場所です。一定の広さが必要となるが、被災状況を確認するとともに地域や関係機関と協議を行い、適切な場所に



大きな被害をもたらした能登半島地震

設置したい。

中野 東日本や能登の震災でも、復旧・復興に予想以上の時間がかかっている。四万十町の対策は。

中尾町長 まず、道路改良を進め、事前復興計画を地元との協議の下、速やかに進めていきたい。

農業振興

**飼料米・WCSでの耕作放棄地対策を
発生防止には一定の効果がある**

／農林水産課長

中野 飼料米・WCSの作付面積と、農家の収入は。

佐竹農林水産課長 飼料

米が53.7ha。窪川地域では43.3ha、大正地域で10.4haでWCSは窪川地域のみで106.1haとなっている。農家の収入は、飼料米で10aあたり6俵を収穫したとして、交付金8万円と担い手加算12万円等を合わせ9.5万円。WCSは8万円になる。

中野 現在、飼料米の受け入れ品種は決まっているか。また、WCSのよ

含めた支援で、耕作放棄地対策に活かせないか。

佐竹農林水産課長 カ

ントリーを使用しなければ、どの品種でも受け入れできる。飼料米の刈り取りまでの支援は現在の体制では難しいが、耕作放棄地の発生防止には一定の効果がある。



牛舎に搬入された WCS (ホールクロップサイレージ)

人権条例

提案者の将来構想を示せ

各支部の同意を得て条例が

制定できるよう努力していく／町長



堀本 伸一 議員

因とする事件等の発生は、県下はもとより全国的に見ても無いと判断している。

堀本 県下、各自治体の人権条例制定の状況を示せ。また、条例制定後にその自治体で何か大きな問題や事件が起きた事例があるか伺う。

今西町民課長 県内34市町村のうち19市町村で条例が制定され、率として56%の状況にある。

また、人権尊重に関する条例の制定を直接の原

堀本 これまでに、窪川支部より「条例を制定したなら町民や団体より糾弾の嵐となる」等の警戒的意見文書が議会に届いている。糾弾的事件が起きにくい地域やまちづくりのためにこそ、人権尊重・擁護の条例が必要と判断する。提案者として、今後この事をどのように考えているのか町長の所見を伺う。



中尾町長 提案者として、人権条例の制定は必要であるとの気持ちは今でも強く持っているが、ただ、各支部の同意は最低限度必要であり、できるだけ情報を共有してこの問題に対して理解を求め、条例制定が提案できる日を目指し努力していきたい。

地域性を活かし粛々と進めるべき

機能・役割を十分議論し町民の期待に

応えていきたい／教育長

図書館

堀本 十和地域に計画する図書館分館事業計画の経緯と現況を聞く。

畦地十和町民生活課長

十和地域は、振興局のスペースに図書コーナーの設置や、旧小鳩保育所跡地でボランティアによる図書の貸し出し等を行っている。振興計画に基づき、新たに図書館分館の設置に関する十和分館整備検討委員会を立ち上げたものである。

堀本 十和の図書館分館設置計画は地域性を活かし粛々と進めるべきであると思うが、窪川地域で計画してきた文化的施設と何か因果関係があるのか確認する。

山脇教育長 文化的施設を図書館本館とする事業計画は中止となったが、



十和地域振興局内の図書コーナー

現図書館、大正分館との連携は大事であり、サービスの内容を踏まえ地域に根ざした機能・役割を整備検討委員会でも十分議論をしていただき、より良い計画になるよう努めていく。

中尾町長 計画が成就できなかったことは想定外であり、行政の長としての責任を感じている。

十和分館設置については、同様の状況が生まれないよう反省し、計画過程の中で議会とも議論を深めながら、設置に向けて町民の期待に応えるべく努力していく。



令和6年1月から～令和6年3月定例会まで 各議員の出席状況

○：出席 □：公務 欠：欠席 代表：議会を代表して出席 /：参加要請なし

月 日	用務の概要	味元 和義	水間 淳一	橋本 章央	中野 正延	林 健三	堀本 伸一	山本 大輔	武田 秀義	村井 眞業	緒方 正綱	中屋 康	田邊 哲夫	伴ノ内 珠喜	佐竹 将典	古谷 幹夫	下元 真之
1月2日	令和6年四万十町二十歳の集い	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
1月17日	兵庫県上郡町議会行政視察受入	/	/	/	○	/	/	○	○	○	/	○	/	○	/	○	○
1月17日	広報・広聴常任委員会（議会だより編集）	/	/	/	○	/	/	○	○	○	/	○	/	○	/	○	○
1月18日	産業建設常任委員会	/	/	○	○	/	/	/	/	○	/	/	/	/	欠	○	/
1月19日	令和5年度新人議員研修	/	/	/	○	/	/	○	/	/	/	/	/	/	欠	/	/
1月21日	令和6年四万十消防出初式	欠	/	○	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
1月22日	議会改革調査特別委員会	/	○	/	/	/	/	○	○	○	/	○	/	/	○	/	○
1月23日	広報・広聴常任委員会（議会だより編集）	/	/	/	○	/	/	○	○	○	/	○	/	○	/	○	○
1月30日	教育民生常任委員会	/	○	/	/	○	/	/	/	/	○	/	/	○	/	/	○
2月7日～9日	産業建設常任委員会(先進地視察研修)	/	/	○	○	/	/	/	/	○	/	/	/	/	欠	○	/
2月15日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
2月17日	令和5年度拉致問題を考える国民の集いin高知	欠	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
2月22日	教育民生常任委員会先進地視察	/	○	/	/	○	/	/	/	/	○	/	/	○	/	/	○
2月26日	議会改革調査特別委員会	/	○	/	/	/	/	○	○	○	/	○	/	/	○	/	○
2月28日	総務常任委員会	○	/	/	/	/	○	○	○	/	/	○	○	/	/	/	/
3月4日	議会運営委員会	○	○	○	/	○	/	/	○	/	/	/	○	/	○	○	○
3月6日	令和6年第1回定例会(開会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月6日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月6日	議会運営委員会	○	○	/	/	○	/	/	○	/	/	/	○	/	○	○	○
3月7日	教育民生常任委員会	/	○	/	/	○	/	/	/	/	○	/	/	○	/	/	○
3月7日	産業建設常任委員会	/	/	○	○	/	/	/	/	○	/	/	/	/	○	○	/
3月8日	全員協議会（当初予算事前審査会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月12日	令和6年第1回定例会（第7日目）	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
3月13日	令和6年第1回定例会（第8日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月14日	令和6年第1回定例会（第9日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
3月15日	令和6年第1回定例会（第10日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月23日	興津小学校閉校記念式典	○	○	/	/	○	/	/	/	/	○	/	/	○	/	/	○
3月23日	韓国高敞郡郡主来町歓迎会	○	/	○	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
3月25日	三島キャンプ場落成式	欠	/	○	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
3月26日	議会改革調査特別委員会	/	○	/	/	/	/	○	○	○	/	○	/	/	○	/	○
3月27日	広報・広聴常任委員会（議会だより編集）	/	/	/	○	/	/	○	○	○	/	○	/	○	/	○	○
3月29日	意見聞き取り調査（十和地区）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
3月30日	明成会創立三十周年記念祝賀会	○	/	○	/	○	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

*紙面の都合上、議長のみ出席用務（9件）は省略しています。

意思表明

○賛否の分かれた議案

○：賛成 ●：反対

議案	水間 淳一	橋本 章央	中野 正延	林 健三	堀本 伸一	山本 大輔	武田 秀義	村井 真菜	緒方 正綱	中屋 康	田邊 哲夫	伴ノ内 珠喜	佐竹 将典	古谷 幹夫	下元 真之	味元 和義	
発議第1号 最低賃金法の改正と中小零細企業支援策の拡充を求める意見書	○	●	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	●	●	●		賛成多数 原案可決

○全会一致の議案

【3月定例】 議 案	結 果
承認第1号 専決処分の承認を求めることについて(四万十町手数料条例の一部を改正する条例)	可決
議案第1号 令和5年度四万十町一般会計補正予算(第7号)	可決
議案第2号 令和5年度四万十町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第3号 令和5年度四万十町国民健康保険大正診療所特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第4号 令和5年度四万十町国民健康保険十和診療所特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第5号 令和5年度四万十町大道へき地診療所特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第6号 令和5年度四万十町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第7号 令和5年度四万十町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第8号 令和5年度四万十町特別養護老人ホーム窪川荘特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第9号 令和5年度四万十町特別養護老人ホーム四万十荘特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第10号 令和5年度四万十町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第11号 令和5年度四万十町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第12号 令和5年度四万十町水道事業会計補正予算(第3号)	可決
議案第13号 小学校教師用指導書の売買契約の締結について	可決
議案第14号 第3次四万十町男女共同参画計画の策定について	可決
議案第15号 四万十町高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の策定について	可決
議案第16号 四万十町第4期障害者計画、第7期障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画の策定について	可決
議案第17号 下水道事業の地方公営企業法適用に伴う関係条例の整備に関する条例について	可決
議案第18号 四万十町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第19号 四万十町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決
議案第20号 四万十町介護保険条例の一部を改正する条例について	可決
議案第21号 四万十町手数料条例の一部を改正する条例について	可決
議案第22号 四万十町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について	可決
議案第23号 四万十町介護保険法に基づく指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決
議案第24号 四万十町介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決
議案第25号 四万十町介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第26号 四万十町監査委員条例の一部を改正する条例について	可決



意思表明

○全会一致の議案

【3月定例】議案	結 果
議案第27号 四万十町町長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第28号 四万十町オートキャンプ場条例の一部を改正する条例について	可決
議案第29号 四万十町昭和ふるさと交流センター等条例の一部を改正する条例について	可決
議案第30号 四万十町家地川地域活性化拠点施設条例の一部を改正する条例について	可決
議案第31号 四万十町志和漁港条例の一部を改正する条例について	可決
議案第32号 四万十町公営住宅条例の一部を改正する条例について	可決
議案第33号 四万十町営改良住宅条例の一部を改正する条例について	可決
議案第34号 四万十町子ども・子育て会議設置条例の一部を改正する条例について	可決
議案第35号 四万十町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決
議案第36号 四万十町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決
議案第37号 四万十町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第38号 四万十町ケーブルネットワーク施設に係る指定管理者の指定について	可決
議案第39号 四万十町家地川地域活性化拠点施設に係る指定管理者の指定について	可決
議案第40号 令和6年度四万十町一般会計予算	可決
議案第41号 令和6年度四万十町国民健康保険事業特別会計予算	可決
議案第42号 令和6年度四万十町国民健康保険大正診療所特別会計予算	可決
議案第43号 令和6年度四万十町国民健康保険十和診療所特別会計予算	可決
議案第44号 令和6年度四万十町大道へき地診療所特別会計予算	可決
議案第45号 令和6年度四万十町後期高齢者医療事業特別会計予算	可決
議案第46号 令和6年度四万十町介護保険事業特別会計予算	可決
議案第47号 令和6年度四万十町特別養護老人ホーム窪川荘特別会計予算	可決
議案第48号 令和6年度四万十町特別養護老人ホーム四万十荘特別会計予算	可決
議案第49号 令和6年度四万十町水道事業会計予算	可決
議案第50号 令和6年度四万十町下水道事業会計予算	可決
陳情第5-14号 陳情審査報告書	不採択
陳情第6-1号 陳情審査報告書	不採択
発議第1号 最低賃金法の改正と中小零細企業支援策の拡充を求める意見書	可決
発委第1号 四万十町議会会議規則の一部を改正する規則について	可決
発委第2号 四万十町議会委員会条例の一部を改正する条例について	可決



「三島キャンプ場リニューアルオープン」

Q 三島キャンプ場は、あちこち傷みゆうって言いよったけど、ようになったがやろうか。

A トイレ・シャワー・屋外炊事棟の整備と、バンガローの改修やテントサイトを拡充し、新たに「ビジターセンター（受付・情報案内・体験施設）」も備え、多くの人が楽しめる場所づく



くりを行いました。

Q 小っちゃい子どもを連れて行っても楽しめるがやろうか。

A デイキャンプでのバーベキューやラフティング体験、川遊びや釣りなど、自然を活かした遊びを満喫できる環境が整っています。

Q 利用料金は、いくらかかるがやろう。

A バンガローは税込み3300円。テントサイト（1区画）4400円。いずれも1泊1人の料金で、デイキャンプ（6時間以内）は



半額で利用できます。その他にレンタル用品なども数多く備えられています。また、指定管理者の方で季節による割引や町民割なども設定されています。詳しくは三島キャンプ場までお問い合わせください。

三島キャンプ場

高岡郡四万十町昭和144-1
電話080-6283-1717

表紙の紹介

志和薬師寺大祭

宵祭りの参道を照らす竹灯籠

旧暦の1月8日、今年は2月17日に薬師寺の大祭が行われ、その前日の宵祭りに約200個の手づくりの竹灯籠がLEDの灯りで本堂までの参道を照らししました。



編集後記

本誌がお手元に届く5月の時節は、花咲き乱れる「百花繚乱」の景色となります。年度も明けて、人事異動もあり、華やかに新たな動きが始まりました。多種多様に花が咲くごとく、新たな組織の下に、議会と執行部の「やり取り」が展開していくことを期待し、議会だよりも様々な角度で議会の動きをお伝えしてまいります。

（中屋 康 記）

【広報広聴委員会】

委員長 下元 真之
副委員長 山本 大輔
委員 中野 正延
武田 秀義
村井 眞菜
中屋 康
伴ノ内珠喜
古谷 幹夫

【記事についてのお詫び】
令和6年2月10日発刊の「議会だより」で掲載した、文化的施設整備事業をテーマに開催した議会報告会の記事において、「住民の90%が建設反対なのに」の文言はアンケート内容の抜粋であり、記入された方ご自身の聞き取り調査の数値でありました。編集する際に十分な配慮が足りなかったことに対しお詫び申し上げます。